

# フェリス女学院大学学則

## 第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

**第1条** 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

### 第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

**第1条の2** 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。
- 3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

### 第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

**第2条** 本学に次の学部・学科を置く。

- (1) 文学部 英文学科 日本文学科 コミュニケーション学科
- (2) 音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科
- (3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

**第2条の2** 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

#### (1) 文学部

文学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

#### (2) 音楽学部

西洋音楽の根幹であるキリスト教音楽を基盤として、音楽の領域に関する高度の教育研究を行い、専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養を兼ね備えた人材を養成する。

#### (3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

**第2条の3** 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
文学部	英文学科	90名	—	—	360名
	日本文学科	90名	—	—	360名
	コミュニケーション学科	90名	—	—	360名
	計	270名	—	—	1,080名
音楽学部	音楽芸術学科	45名	—	—	180名
	演奏学科	50名	—	—	200名
	計	95名	—	—	380名
国際交流学部	国際交流学科	194名	4名	6名	800名
合計		559名	4名	6名	2,260名

(大学院)

**第2条の4** 本学に大学院を置く。

- 2 大学院の学則は、別に定める。

### 第3章 授業科目

(授業科目)

**第3条** 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、基礎教養科目、総合課題科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

**第3条の2** 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

**第4条から第8条まで** 削除

**第4章** 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

**第9条** 本学の修業年限を4年とする。

2 在学期間は、8年を超えることができない。ただし、第25条の2第1項及び第2項の規定により入学した学生は、同条第3項に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

(履修希望科目の届出)

**第10条** 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

(他学部他学科専門科目の履修)

**第11条** 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

**第12条** 単位の認定は、試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

2 試験は、学期末に行う。ただし、特別の事情がある場合には、この限りではない。

(受験資格)

**第13条** 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

**第14条** 試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

**第14条の2** 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

**第14条の3** 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績評価)

**第15条** 授業科目の試験の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

**第16条** 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

**第17条** 削除

(卒業の要件)

**第18条** 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(外国人留学生の卒業の要件)

**第18条の2** 外国人留学生については、前条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

- (1) 第3条の2に定める日本語科目 前条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位
- (2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位
- 2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなし、第2号に定める科目は基礎教養科目とみなす。
- 3 前々項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。
- 4 文学部英文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

**第19条** 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科	
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語	文学部	英文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語	文学部	日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音楽	音楽学部	音楽芸術学科 演奏学科
中学校教諭一種免許状	社会	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公民	国際交流学部	国際交流学科

(日本語教員養成講座)

**第19条の2** 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

**第20条** 学長は、第18条の規定により卒業資格の認定を受けた者には、その卒業を認め、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

**第21条** 削除

#### 第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

**第22条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

**第22条の2** 授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

**第23条** 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 日曜日、土曜日
- (3) 開学記念日 6月1日
- (4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで
- (5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで
- (6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで
- (7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

#### 第7章 入学、休学、退学等

(入学時期)

**第24条** 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

**第25条** 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可する。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（2年次編入学）

**第25条の2** 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への2年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 大学又は短期大学に1年以上在学し、30単位以上を修得した者
- (4) 高等専門学校を卒業した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（前条に規定する者に限る。）
- (6) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

2 第2条の2に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(3年次編入学)

**第25条の3** 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への3年次編入学を願い出た者については、

選考の上、学長がこれを許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（前々条に規定する者に限る。）
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

2 第2条の2に規定するもののほか、本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（編入学資格における外国の学校教育制度に基づく教育施設の取扱い）

**第25条の4** 前々条第1号及び前条第1号に規定する大学を卒業した者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者を含むものとする。

2 前々条第3号及び前条第2号に規定する大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

3 前々条第3号に規定する短期大学には、我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

4 前々条第2号及び前条第2号に規定する短期大学を卒業した者には、外国の短期大学を卒業した者及び我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（第25条に規定する者に限る。）を含むものとする。

（入学手続）

**第26条** 前2条の規定により入学の許可を受けた者は、別に定めるところにより、所定の期日までに手続しなければならない。

2 入学の許可を受けた者は、直ちに保証人を定め、入学手続しなければならない。

3 保証人は、父母等独立の生計を営む者で確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。保証人として不適当と認めるときは、その変更を命ずることができる。

4 保証人は、保証する学生の在学中、その一身に関する事項について一切の責務に任じなければならない。

5 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

6 保証人が住所変更した場合には、直ちにその旨を届け出なければならない。

（宣誓）

**第27条** 入学の許可を受けた者は、入学の際に所定の宣誓をしなければならない。

（入学許可の取消し）

**第28条** 学長は、入学の許可を受けた者が前2条の手続をとらないときは、入学許可を取り消すことができる。

（留学）

**第28条の2** 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、教授会の承認を得なければならない。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

**第29条** 学生は、疾病その他のやむを得ない理由により、修学することができない場合には、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1学年を区分として、休学することができる。

2 校医の診断に基づき疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(出席停止)

**第29条の2** 学長は、伝染病にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(休学期間)

**第30条** 休学は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の在学期間に算入しない。

(出席停止期間)

**第30条の2** 出席停止期間は、学校保健法施行規則第20条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

**第31条** 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

**第32条** 削除

(退学)

**第33条** 退学しようとする者は、保証人連署の上願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

**第34条** 学長は、学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、除籍することができる。

(1) 在学期間が8年を超えて卒業資格を得られない場合

(2) 授業料等学納金の納入を怠った場合

(3) 第30条第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない場合

(再入学)

**第34条の2** 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、教授会の議を経て、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

**第8章** 授業料等学納金その他納入金

(入学検定料の納入)

**第35条** 本学への入学を願い出る者は、入学検定料を納入しなければならない。

2 入学検定料の額は、別表第6に定めるとおりとする。

3 本学への再入学を願い出る者の入学検定料の額は、別に定める。

4 入学検定料を減免することがある。減免に関し必要な事項は別に定める。

(入学金、授業料等学納金の納入)

**第36条** 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料、実習費並びに施設設備費を納入しなければならない。

2 前項の額は、別表第7に定めるとおりとする。

3 前々項の規定に従って入学金及び授業料等学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた授業料等学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。

4 再入学の許可を受けた者の入学金及び授業料等学納金の額は別に定める。

**第36条の2** 学生は、学期ごとに当該学期分の授業料、実習費及び施設設備費を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

- 2 学生は、入学した年度から4年間（2年次編入学生にあつては3年間、3年次編入学生にあつては2年間）施設設備費を納入しなければならない。
- 3 前2項の額は、授業料等学納金として別表第7に定めるとおりとする。
- 4 入学年度前期分の授業料、実習費及び施設設備費については、第1項の規定にかかわらず、入学手続時に納入するものとする。
- 5 再入学した学生の授業料等学納金の額は、別に定める。

（在籍料の納入）

**第36条の3** 休学する者は、休学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。ただし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。

- 2 前項の額は、休学する学期の所定の授業料及び実習費の2分の1に相当する額とする。
- 3 本学から外国の大学に留学する者は、留学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。ただし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。
- 4 前項の額は、留学する学期の所定の授業料及び実習費に相当する額とする。

（納入の方法等）

**第37条** 第35条から前条までに定めるもののほか、授業料等学納金その他納入金の納入方法は、別に定める。

### 第9章 職員組織

（職員組織）

**第38条** 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助手、副手、事務職員及びその他の職員を置く。

### 第10章 教授会及び大学評議会

（教授会）

**第39条** 本学の各学部に教授会を置き、各学部に所属する専任教員（教授、准教授、講師）をもって構成する。

**第39条の2** 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則その他の規則の制定改廃に関する事項
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 学生の入学、退学、休学、卒業及びその他身上に関する事項
- (4) 学生の試験並びに単位認定に関する事項
- (5) 学生の指導並びに賞罰に関する事項
- (6) 学長、学部長、大学評議員、各種委員の選出に関する事項
- (7) 教員の人事に関する事項
- (8) 学部の教育、研究に関する事項
- (8) その他教授会が必要と認める事項

**第39条の3** 前2条に規定するもののほか、教授会に関し必要な事項は、別に定める。

（大学評議会）

**第39条の4** 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会は、次の者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各学部長
- (3) 各学部から選出されたそれぞれ2名の教授
- (4) 附属図書館長
- (5) 情報センター長

3 前項に規定するもののほか、重要な職にある教授を大学評議会の議を経て、大学評議員とすることができる。

**第39条の5** 大学評議会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項
- (2) 予算概算方針に関する事項
- (3) 学部、学科その他重要な施設、組織の設置、廃止に関する事項
- (4) 学長の推挙に関する事項
- (5) 教員人事の基準に関する事項

- (6) 学生定員に関する事項
- (7) 学生の厚生補導及びその身分に関する重要事項
- (8) 学部その他の機関の連絡調整に関する事項
- (9) その他大学の運営に関する重要事項

**第39条の6** 前2条に規定するもののほか、大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

#### **第11章 削除**

**第40条 削除**

#### **第12章 図書館、研究施設及びセンター**

(附属図書館)

**第41条** 本学に附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属研究施設)

**第42条** 本学に附属の研究施設を置くことができる。

- 2 研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

**第42条の2** 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

- 2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

#### **第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生**

(科目等履修生)

**第43条** 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。
- 3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。
- 4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。
- 5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。
- 6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

**第43条の2** 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

- 3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

**第44条** 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

**第44条の2** 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

- 2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

#### **第14章 公開講座**

(公開講座)

**第45条** 本学に、公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

#### **第15章 名誉教授**

(名誉教授)

**第46条** 学長は、本学に学長、教授、准教授又は講師として多年勤務し、教育上又は学術上特に功勞

のあった者に対し、教授会及び大学評議会の議を経て、名誉教授の称号を授与することができる。

#### 第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舎)

第48条 本学に寄宿舎を置くことができる。

2 寄宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第48条の2 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第49条 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

#### 第17章 賞罰

(表彰)

第50条 学長は、学生の本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰することができる。

(処分)

第51条 学長は、本学の学則及び訓育の趣旨に違背し、又は学生としての本分に反する行為をした学生に対し、教授会及び大学評議会の議を経て懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の何れかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる場合

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる場合

(3) 正当な理由がなくて出席常でない場合

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した場合

#### 第18章 改正

(改正)

第52条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会が決定する。

#### 第19章 雑則

(その他の事項)

第53条 この学則に定めるもののほか、必要な事項は学長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

**附 則**

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
学科	名	名	名
国際文化学科	80	160	240

**附 則**

- 1 本学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、昭和63年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
学部			
学科			
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

**附 則**

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のとおりとする。

**附 則**

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

**附 則**〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

**附 則**〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

**附 則**〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

**附 則**〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

**附 則**〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

**附 則**〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

**附 則**〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年5月25日理事会決定〕

- この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 改正後の第2条の2及び附則（1992年4月1日施行）の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1995年5月25日理事会決定〕

- この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1997年2月27日理事会決定〕

- この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

**附 則**〔1999年5月25日理事会決定〕

- この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47

国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。

2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

**附 則**〔2007年2月22日理事会決定〕

1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。

2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

**附 則**〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

**附 則**〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

**附 則**〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

**附 則**〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

別表第1 共通科目（第3条関係）（ ）内は単位数

A 基礎教養科目

キリスト教Ⅰ	(2)	社会保障論	(2)
哲学A	(2)	マクロ経済学	(2)
哲学B	(2)	ミクロ経済学	(2)
心理学	(2)	経営学入門A	(2)
青年心理	(2)	経営学入門B	(2)
現代教育学	(2)	現代企業論1	(2)
子ども・教育・保育	(2)	現代企業論2	(2)
論理学	(2)	ボランティア論	(2)
読み書きのスキル（文学系）	(2)	ボランティア活動1	(1)
読み書きのスキル（社会系）	(2)	ボランティア活動2	(2)
今年の一冊	(2)	ボランティア活動3	(6)
聞く話すのスキル	(2)	文学（日本文学）	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	文学（外国文学）	(2)
読書とメディア	(2)	音楽A	(2)
社会科学入門	(2)	音楽B	(2)
近現代史入門	(2)	音楽実技A	(1)
社会経済史	(2)	音楽実技B	(1)
社会学A	(2)	美術芸術論	(2)
社会学B	(2)	舞台芸術入門	(2)
マスコミュニケーション論A	(2)	科学技術入門	(2)
マスコミュニケーション論B	(2)	数学の基礎	(2)
現代における法学入門	(2)	統計の基礎	(2)
民法（家族法）	(2)	環境学入門	(2)
日本国憲法	(2)	生き物との共生	(2)
商法・会社法	(2)	情報科学	(2)
消費者関連法	(2)	情報リテラシー	(2)
行政学A	(2)	女性のエクササイズパフォーマンス	(2)
行政学B	(2)	健康科学	(2)
経済学入門	(4)	健康・スポーツ	(1)
現代の経済問題	(2)		

B 総合課題科目

キリスト教Ⅱ	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
キリスト教Ⅲ	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
創立140周年記念科目	(2)	転換の時代を生きる	(2)
女性	(2)	環境と人間	(2)
他者との共生：For Others	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
私のキャリアを考える	(2)	学びの世界を広げる	(2)
ビジネス・スキルを高める	(2)	新たな学びの世界への招待	(2)

<備考>

講義は2単位、実験は1単位とする。

C 語学科目

英語Ⅰs（読む・書く）	(1)	英語Ⅱi（Speaking）	(1)
英語Ⅰs（聞く・話す）	(1)	英語Ⅱi（Presentation）	(1)
英語Ⅱi（Reading）	(1)	英語Ⅱi（Language Development）	(1)
英語Ⅱi（Writing）	(1)	英語Ⅱi（講読）	(1)
英語Ⅱi（Listening）	(1)	英語Ⅱs（読む・書く）	(1)

英語Ⅱs (聞く・話す)	(1)	英語e (Vocabulary(Basic))	(1)
英語Ⅲi (Reading)	(1)	英語e (World Englishes(Advanced))	(1)
英語Ⅲi (Writing)	(1)	フランス語Ⅰ (入門)	(1)
英語Ⅲi (Listening)	(1)	フランス語Ⅱi (文法)	(3)
英語Ⅲi (Speaking)	(1)	フランス語Ⅱi (読む1)	(1)
英語Ⅲi (Presentation)	(1)	フランス語Ⅱi (読む2)	(1)
英語Ⅲi (Language Development)	(1)	フランス語Ⅱi (LL)	(1)
英語Ⅲr (Reading and Writing)	(1)	フランス語Ⅱs (文法)	(1)
英語Ⅲr (Speaking)	(1)	フランス語Ⅱs (読む)	(1)
英語Ⅲs (読む)	(1)	フランス語Ⅲi (文法)	(2)
英語Ⅲs (読む・書く)	(1)	フランス語Ⅲi (読む)	(1)
英語Ⅲs (聞く・話す)	(1)	フランス語Ⅲi (話す)	(1)
英語Ⅳi (Reading)	(1)	フランス語Ⅲi (書く)	(1)
英語Ⅳi (Writing)	(1)	フランス語Ⅲi (LL)	(1)
英語Ⅳi (Speaking)	(1)	フランス語Ⅲs (文法)	(1)
英語Ⅳi (Presentation)	(1)	フランス語Ⅲs (読む)	(1)
英語Ⅳi (Language Development)	(1)	フランス語Ⅲs (話す)	(1)
英語Ⅳi (講読)	(1)	フランス語Ⅲs (LL)	(1)
英語Ⅳr (Reading and Writing)	(1)	フランス語Ⅳi (読む1)	(1)
英語Ⅳr (Speaking)	(1)	フランス語Ⅳi (読む2)	(1)
英語Ⅳs (読む)	(1)	フランス語Ⅳi (話す)	(1)
英語Ⅳs (読む・書く)	(1)	フランス語Ⅳi (書く)	(1)
英語Ⅳs (聞く・話す)	(1)	フランス語Ⅳi (LL)	(1)
英語Ⅴi (Communication Strategies 1)	(1)	フランス語Ⅳs (読む)	(1)
英語Ⅴi (Communication Strategies 2)	(1)	フランス語Ⅳs (話す)	(1)
英語Ⅴi (Reading)	(1)	フランス語Ⅳs (LL)	(1)
英語Ⅴi (Speaking)	(1)	フランス語Ⅴi (読む)	(1)
英語e (Advanced English)	(1)	フランス語Ⅴi (話す)	(1)
英語e (Basic English)	(1)	フランス語Ⅴi (書く)	(1)
英語e (Content-Based English)	(1)	フランス語Ⅴi (LL)	(1)
英語e (English through Drama)	(1)	フランス語Ⅵi (読む)	(1)
英語e (English through Video)	(1)	フランス語Ⅵi (話す)	(1)
英語e (Songs in English)	(1)	フランス語Ⅵi (書く)	(1)
英語e (Business English)	(1)	フランス語Ⅵi (LL)	(1)
英語e (Academic Reading)	(1)	ドイツ語Ⅰ (入門)	(1)
英語e (Academic Reading(Advanced))	(1)	ドイツ語Ⅰ (文法)	(1)
英語e (Conversation Skills(Basic))	(1)	ドイツ語Ⅰ (読む)	(1)
英語e (Conversation Skills)	(1)	ドイツ語Ⅱi (文法)	(3)
英語e (Conversation Skills(Advanced))	(1)	ドイツ語Ⅱi (読む1)	(1)
英語e (Discussion and Debate)	(1)	ドイツ語Ⅱi (読む2)	(1)
英語e (English through Movies)	(1)	ドイツ語Ⅱi (LL)	(1)
英語e (English through Music(Basic))	(1)	ドイツ語Ⅱs (文法)	(1)
英語e (Grammar(Basic))	(1)	ドイツ語Ⅱs (読む)	(1)
英語e (Pronunciation)	(1)	ドイツ語Ⅲi (文法)	(2)
英語e (Public Speaking)	(1)	ドイツ語Ⅲi (読む)	(1)
英語e (Reading Fiction)	(1)	ドイツ語Ⅲi (話す)	(1)
英語e (Reading Poetry)	(1)	ドイツ語Ⅲi (書く)	(1)
英語e (TOEFL-iBT PreparationⅠ)	(1)	ドイツ語Ⅲi (LL)	(1)
英語e (TOEFL-iBT PreparationⅡ)	(1)	ドイツ語Ⅲs (文法)	(1)
英語e (TOEFL-iBT PreparationⅢ)	(1)	ドイツ語Ⅲs (読む)	(1)
英語e (TOEIC PreparationⅠ)	(1)	ドイツ語Ⅲs (話す)	(1)
英語e (TOEIC PreparationⅡ)	(1)	ドイツ語Ⅲs (LL)	(1)
英語e (TOEIC PreparationⅢ)	(1)	ドイツ語Ⅳi (読む1)	(1)

ドイツ語IVi (読む2)	(1)	中国語Ⅱs (読む)	(1)
ドイツ語IVi (話す)	(1)	中国語Ⅲi (文法)	(2)
ドイツ語IVi (書く)	(1)	中国語Ⅲi (読む)	(1)
ドイツ語IVi (LL)	(1)	中国語Ⅲi (話す)	(1)
ドイツ語IVs (読む)	(1)	中国語Ⅲi (書く)	(1)
ドイツ語IVs (話す)	(1)	中国語Ⅲi (LL)	(1)
ドイツ語IVs (LL)	(1)	中国語Ⅲs (文法)	(1)
ドイツ語Vi (読む)	(1)	中国語Ⅲs (読む)	(1)
ドイツ語Vi (話す)	(1)	中国語Ⅲs (話す)	(1)
ドイツ語Vi (書く)	(1)	中国語Ⅲs (LL)	(1)
ドイツ語Vi (LL)	(1)	中国語IVi (読む1)	(1)
ドイツ語VIi (読む)	(1)	中国語IVi (読む2)	(1)
ドイツ語VIi (話す)	(1)	中国語IVi (話す)	(1)
ドイツ語VIi (書く)	(1)	中国語IVi (書く)	(1)
ドイツ語VIi (LL)	(1)	中国語IVi (LL)	(1)
スペイン語Ⅰ (入門)	(1)	中国語IVs (読む)	(1)
スペイン語Ⅱi (文法)	(3)	中国語IVs (話す)	(1)
スペイン語Ⅱi (読む1)	(1)	中国語IVs (LL)	(1)
スペイン語Ⅱi (読む2)	(1)	中国語Vi (読む)	(1)
スペイン語Ⅱi (LL)	(1)	中国語Vi (話す)	(1)
スペイン語Ⅱs (文法)	(1)	中国語Vi (書く)	(1)
スペイン語Ⅱs (読む)	(1)	中国語Vi (LL)	(1)
スペイン語Ⅲi (文法)	(2)	中国語VIi (読む)	(1)
スペイン語Ⅲi (読む)	(1)	中国語VIi (話す)	(1)
スペイン語Ⅲi (話す)	(1)	中国語VIi (書く)	(1)
スペイン語Ⅲi (書く)	(1)	中国語VIi (LL)	(1)
スペイン語Ⅲi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅰ (入門)	(1)
スペイン語Ⅲs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅱi (文法)	(3)
スペイン語Ⅲs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む1)	(1)
スペイン語Ⅲs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む2)	(1)
スペイン語Ⅲs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅱi (LL)	(1)
スペイン語IVi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅱs (文法)	(1)
スペイン語IVi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅱs (読む)	(1)
スペイン語IVi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅲi (文法)	(2)
スペイン語IVi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅲi (読む)	(1)
スペイン語IVi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅲi (話す)	(1)
スペイン語IVs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅲi (書く)	(1)
スペイン語IVs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅲi (LL)	(1)
スペイン語IVs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅲs (文法)	(1)
スペイン語Vi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅲs (読む)	(1)
スペイン語Vi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅲs (話す)	(1)
スペイン語Vi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅲs (LL)	(1)
スペイン語Vi (LL)	(1)	朝鮮語IVi (読む1)	(1)
スペイン語VIi (読む)	(1)	朝鮮語IVi (読む2)	(1)
スペイン語VIi (話す)	(1)	朝鮮語IVi (話す)	(1)
スペイン語VIi (書く)	(1)	朝鮮語IVi (書く)	(1)
スペイン語VIi (LL)	(1)	朝鮮語IVi (LL)	(1)
中国語Ⅰ (入門)	(1)	朝鮮語IVs (読む)	(1)
中国語Ⅱi (文法)	(3)	朝鮮語IVs (話す)	(1)
中国語Ⅱi (読む1)	(1)	朝鮮語IVs (LL)	(1)
中国語Ⅱi (読む2)	(1)	朝鮮語Vi (読む)	(1)
中国語Ⅱi (LL)	(1)	朝鮮語Vi (話す)	(1)
中国語Ⅱs (文法)	(1)	朝鮮語Vi (書く)	(1)

朝鮮語Vi (LL)	(1)	ラテン語II	(1)
朝鮮語VIi (読む)	(1)	ラテン語III	(1)
朝鮮語VIi (話す)	(1)	ラテン語IV	(1)
朝鮮語VIi (書く)	(1)	イタリア語I (文法)	(1)
朝鮮語VIi (LL)	(1)	イタリア語I (読む)	(1)
古典ギリシア語I	(1)	イタリア語II (文法)	(1)
古典ギリシア語II	(1)	イタリア語II (読む)	(1)
古典ギリシア語III	(1)	日本語I	(1)
古典ギリシア語IV	(1)	日本語II	(1)
ラテン語I	(1)	海外語学実習	(2)

別表第2 専門科目 (第3条関係)

( ) 内は単位数

A 文学部英文学科

1999・2000・2001・2002・2003年度入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	英語表現法4 A	(2)
英米文化基礎演習	(1)	英語表現法4 B	(2)
英米文化基礎演習A	(1)	英語音声学A	(2)
英米文化基礎演習B	(1)	英語音声学B	(2)
イギリス文学研究入門	(4)	英米文芸論1 A	(2)
イギリス文化研究入門	(4)	英米文芸論1 B	(2)
イギリス社会研究入門A	(2)	英米文芸論2 A	(2)
イギリス社会研究入門B	(2)	英米文芸論2 B	(2)
アメリカ文学研究入門	(4)	英米伝承文化1 A	(2)
アメリカ文化研究入門	(4)	キリスト教と英米文学1	(2)
英語学研究入門	(4)	キリスト教と英米文学2	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	イギリス史A	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	イギリス史B	(2)
コミュニケーション研究法A	(2)	イギリスの思想・宗教A	(2)
コミュニケーション研究法B	(2)	イギリスの思想・宗教B	(2)
英米文化基礎研究	(2)	イギリスの政治と社会A	(2)
英米詩を読む1 A	(2)	イギリスの政治と社会B	(2)
英米詩を読む1 B	(2)	イギリス文化論総説A	(2)
英米詩を読む2 A	(2)	イギリス文化論総説B	(2)
英米詩を読む2 B	(2)	アメリカ史	(4)
英米演劇を読む1 A	(2)	アメリカの思想・宗教A	(2)
英米演劇を読む1 B	(2)	アメリカの思想・宗教B	(2)
英米演劇を読む2 A	(2)	アメリカの政治と社会A	(2)
英米演劇を読む2 B	(2)	アメリカの政治と社会B	(2)
英米小説を読む1 A	(2)	現代アメリカ論	(4)
英米小説を読む1 B	(2)	カナダの政治と社会	(4)
英米小説を読む2 A	(2)	オーストラリア地域文化研究A	(2)
英米小説を読む2 B	(2)	オーストラリア地域文化研究B	(2)
英日・日英翻訳法A	(2)	英米文化論2 A	(2)
英日・日英翻訳法B	(2)	英米文化論2 B	(2)
英日・日英通訳法1 A	(2)	英米文化論3	(4)
英日・日英通訳法1 B	(2)	英米文化論3 A	(2)
英日・日英通訳法2 A	(2)	英米文化論3 B	(2)
英日・日英通訳法2 B	(2)	英語学研究1 A	(2)
時事英語研究A	(2)	英語学研究1 B	(2)
時事英語研究B	(2)	英語学研究2 A	(2)
英語表現法1 A	(2)	英語学研究2 B	(2)
英語表現法1 B	(2)	英語学研究3 A	(2)
英語表現法2 B	(2)	英語学研究3 B	(2)

英語史A	(2)	文化人類学A	(2)
英語史B	(2)	文化人類学B	(2)
英語圏の映画と映像A	(2)	言語学概説	(2)
英語圏の映画と映像B	(2)	応用言語学A	(2)
英語圏の文学と芸術A	(2)	応用言語学B	(2)
英語圏の文学と芸術B	(2)	対照言語学1	(2)
English for Kids A	(2)	対照言語学2	(2)
English for Kids B	(2)	対照言語学3	(2)
Teaching Japanese Language A	(2)	多文化・多言語社会を考える	(2)
Teaching Japanese Language B	(2)	これからの多文化教育	(2)
ディベートA	(2)	多文化社会の人間学A	(2)
ディベートB	(2)	多文化社会の人間学B	(2)
ネットワークコミュニケーションA	(2)	多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)
ネットワークコミュニケーションB	(2)	健康・医療におけるコミュニケーションの問題	(2)
行動科学のためのデータ分析A	(2)	H I V・難病問題と向き合う	(2)
行動科学のためのデータ分析B	(2)	アジアとのネットワーク	(2)
ことばのフィールドワークA	(2)	共生のフィールドワーク	(4)
ことばのフィールドワークB	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
言語リサーチA	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
言語リサーチB	(2)	マルチメディアの現在と未来	(4)
テキスト情報処理A	(2)	マルチメディア制作Ⅱ(情報デザイン)A	(2)
テキスト情報処理B	(2)	マルチメディア制作Ⅱ(情報デザイン)B	(2)
異文化コミュニケーション1	(4)	取材と記事のレッスン	(2)
異文化コミュニケーション1A	(2)	ファッション文化	(2)
異文化コミュニケーション1B	(2)	スポーツ文化	(2)
異文化コミュニケーション2	(4)	現代人と宗教	(2)
異文化コミュニケーション2A	(2)	広告とマーケティング	(2)
異文化コミュニケーション2B	(2)	カルチュラルスタディーズA	(2)
言語と地域コミュニケーションA	(2)	カルチュラルスタディーズB	(2)
言語と地域コミュニケーションB	(2)	古典と表象文化A	(2)
コミュニケーションと組織・社会A	(2)	古典と表象文化B	(2)
コミュニケーションと組織・社会B	(2)	テキスト生成と批評A	(2)
コミュニケーションと個人A	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
コミュニケーションと個人B	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
コミュニケーションと個性	(4)	ポピュラーカルチャーB	(2)
コミュニケーションと個性A	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
コミュニケーションと個性B	(2)	声の文化と文字の文化B	(2)
共生のコミュニケーション1A	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
共生のコミュニケーション1B	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
共生のコミュニケーション2A	(2)	児童文学論A	(2)
共生のコミュニケーション2B	(2)	児童文学論B	(2)
マルチメディア論A	(2)	キリスト教と文学	(2)
マルチメディア論B	(2)	フィールド・スタディ1	(1)
映像取材A	(2)	フィールド・スタディ2	(1)
映像取材B	(2)	英米文化現地実習1	(2)
共生コミュニケーションの技法1	(2)	英米文化現地実習2	(2)
共生コミュニケーションの技法2A	(2)	日本語教授法I A	(2)
共生コミュニケーションの技法2B	(2)	日本語教授法I B	(2)
ノンバーバルコミュニケーションA	(2)	日本語教授法II A	(2)
ノンバーバルコミュニケーションB	(2)	日本語教授法II B	(2)
身体表現論	(4)	日本語教育評価法	(2)
身体表現論A	(2)	日本語教育実習	(3)
身体表現論B	(2)	日本語教育実習1	(1)

日本語教育実習 2	(2)	コミュニケーション特別演習 I A	(1)
英米文化特別演習 I A	(1)	コミュニケーション特別演習 I B	(1)
英米文化特別演習 I B	(1)	コミュニケーション特別演習 II A	(1)
英米文化特別演習 II A	(1)	コミュニケーション特別演習 II B	(1)
英米文化特別演習 II B	(1)	卒業論文	(6)

2004年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	英語の歴史 A	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	英語の歴史 B	(2)
アメリカ研究入門	(4)	翻訳技法 A	(2)
イギリス研究入門	(4)	翻訳技法 B	(2)
英米文学研究入門	(4)	通訳技法 A	(2)
英語文化研究入門	(4)	通訳技法 B	(2)
英語学研究入門	(4)	同時通訳技法 A	(2)
アメリカを読み解く	(2)	同時通訳技法 B	(2)
イギリスを読み解く	(2)	時事英語研究 A	(2)
英語の実像を探る	(2)	時事英語研究 B	(2)
英語文献を読み解く	(2)	Academic Writing A	(2)
現代アメリカ論	(4)	Academic Writing B	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	Global Issues	(4)
アメリカの政治と社会 B	(2)	Internet English A	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	Internet English B	(2)
アメリカの思想・宗教 B	(2)	English for Kids A	(2)
アメリカの文化 A	(2)	English for Kids B	(2)
アメリカの文化 B	(2)	The English-Speaking World A	(2)
アメリカ史	(4)	The English-Speaking World B	(2)
アメリカン・スタディーズ	(2)	Teaching Japanese Language A	(2)
英語圏の映画と映像 A	(2)	Teaching Japanese Language B	(2)
英語圏の映画と映像 B	(2)	Ferris Special English Program	(2)
英語圏の文学と芸術 A	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
英語圏の文学と芸術 B	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
英米芸術史	(2)	古典と表象文化 A	(2)
イギリス文化史	(2)	古典と表象文化 B	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	テキスト生成と批評 B	(2)
イギリスの思想・宗教 A	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
イギリスの思想・宗教 B	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
イギリス文化論総説 B	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)
イギリス史 A	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
イギリス史 B	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
カナダの政治と社会	(4)	児童文学論 A	(2)
オーストラリア地域文化研究 A	(2)	児童文学論 B	(2)
オーストラリア地域文化研究 B	(2)	キリスト教と文学	(2)
英語のさまざまな側面 A	(2)	キリスト教と英米文学 1	(2)
英語のさまざまな側面 B	(2)	キリスト教と英米文学 2	(2)
英語のしくみを知る A	(2)	アメリカ文学史	(2)
英語のしくみを知る B	(2)	イギリス文学史 A	(2)
英語と社会・文化	(2)	イギリス文学史 B	(2)
英語学特論	(2)	英米文学特論 A	(2)
日英語の発想と表現	(2)	英米文学特論 B	(2)
英語の発音 A	(2)	アメリカ小説を読む A	(2)
英語の発音 B	(2)	アメリカ小説を読む B	(2)

イギリス小説を読むA	(2)	英語圏文学A	(2)
イギリス小説を読むB	(2)	英語圏文学B	(2)
アメリカ詩の世界A	(2)	フィールド・スタディ1	(1)
アメリカ詩の世界B	(2)	フィールド・スタディ2	(1)
イギリス詩の世界A	(2)	アメリカ現地実習	(2)
イギリス詩の世界B	(2)	イギリス現地実習	(2)
アメリカ演劇の世界A	(2)	英米文化専門ゼミA	(1)
アメリカ演劇の世界B	(2)	英米文化専門ゼミB	(1)
イギリス演劇の世界A	(2)	英米文化卒論ゼミA	(1)
イギリス演劇の世界B	(2)	英米文化卒論ゼミB	(1)
フォークロアの世界A	(2)	卒業論文	(6)
フォークロアの世界B	(2)		

B 文学部日本文学科

1999・2000・2001・2002・2003年度入学者

R&R (入門ゼミ)	(1)	近代文学論1 B	(2)
日本語文化基礎演習	(1)	漢文学作品論A	(2)
日本語学概論A	(2)	漢文学作品論B	(2)
日本語学概論B	(2)	日本語の形態と構文A	(2)
日本語史A	(2)	日本語の形態と構文B	(2)
日本語史B	(2)	日本語の意味と語彙A	(2)
日本古典文学史A	(2)	日本語の意味と語彙B	(2)
日本古典文学史B	(2)	日本語の音声とアクセントA	(2)
日本近代文学史A	(2)	日本語の音声とアクセントB	(2)
日本近代文学史B	(2)	日本語の文体と表現A	(2)
漢文学概説A	(2)	日本語の文体と表現B	(2)
漢文学概説B	(2)	キリスト教と日本文学A	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	キリスト教と日本文学B	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	キリスト教と文学	(2)
コミュニケーション研究法A	(2)	児童文学A	(2)
コミュニケーション研究法B	(2)	児童文学B	(2)
日本語資料を読む	(4)	言語と子ども	(2)
古典文学を読む1	(4)	児童文学論A	(2)
古典文学を読む2	(4)	児童文学論B	(2)
近代文学を読む	(4)	神話・説話の世界A	(2)
中国古典を読む	(4)	神話・説話の世界B	(2)
文献を探すA	(2)	物語の世界A	(2)
文献を探すB	(2)	物語の世界B	(2)
詩・短歌・俳句を創る	(2)	和歌の世界A	(2)
絵巻を読み解く	(2)	和歌の世界B	(2)
絵図を読み解く	(2)	俳諧の世界	(2)
文学を歩く	(2)	近世小説の世界	(2)
日本語学文献研究A	(2)	近代小説の世界	(4)
日本語学文献研究B	(2)	近代小説の世界A	(2)
上代文学論A	(2)	近代小説の世界B	(2)
上代文学論B	(2)	文学と都市空間	(2)
中古文学論A	(2)	同時代の文学	(2)
中古文学論B	(2)	世界の中の日本文学	(2)
中世文学論A	(2)	古代・中世の芸能A	(2)
中世文学論B	(2)	古代・中世の芸能B	(2)
近世文学論A	(2)	近世の芸能A	(2)
近世文学論B	(2)	近世の芸能B	(2)
近代文学論1 A	(2)	小説・シナリオを創る	(2)

琉球の言語と文学	(2)	ことばのフィールドワーク B	(2)
日本の歴史と文化 A	(2)	言語リサーチ A	(2)
日本の歴史と文化 B	(2)	言語リサーチ B	(2)
日本の伝統と文化	(2)	テキスト情報処理 A	(2)
日本思想史 A	(2)	テキスト情報処理 B	(2)
日本思想史 B	(2)	異文化コミュニケーション 1	(4)
民俗学	(2)	異文化コミュニケーション 1 A	(2)
漢字学入門 A	(2)	異文化コミュニケーション 1 B	(2)
漢字学入門 B	(2)	異文化コミュニケーション 2	(4)
日中比較言語・文学 A	(2)	異文化コミュニケーション 2 A	(2)
日中比較言語・文学 B	(2)	異文化コミュニケーション 2 B	(2)
鎌倉学	(2)	言語と地域コミュニケーション A	(2)
発声と身体のレッスン	(2)	言語と地域コミュニケーション B	(2)
朗読のレッスン	(2)	コミュニケーションと組織・社会 A	(2)
マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)	コミュニケーションと組織・社会 B	(2)
多文化・多言語社会を考える	(2)	コミュニケーションと個人 A	(2)
これからの多文化教育	(2)	コミュニケーションと個人 B	(2)
多文化社会の人間学 A	(2)	コミュニケーションと個性	(4)
多文化社会の人間学 B	(2)	コミュニケーションと個性 A	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	コミュニケーションと個性 B	(2)
健康・医療におけるコミュニケーションの問題	(2)	共生のコミュニケーション 1 A	(2)
H I V・難病問題と向き合う	(2)	共生のコミュニケーション 1 B	(2)
アジアとのネットワーク	(2)	共生のコミュニケーション 2 A	(2)
共生のフィールドワーク	(4)	共生のコミュニケーション 2 B	(2)
メディアリテラシーを身につける	(2)	マルチメディア論 A	(2)
新聞・出版ワークショップ	(2)	マルチメディア論 B	(2)
マルチメディアの現在と未来	(4)	映像取材 A	(2)
マルチメディア制作Ⅱ (情報デザイン) A	(2)	映像取材 B	(2)
マルチメディア制作Ⅱ (情報デザイン) B	(2)	共生コミュニケーションの技法 1	(2)
取材と記事のレッスン	(2)	共生コミュニケーションの技法 2 A	(2)
ファッション文化	(2)	共生コミュニケーションの技法 2 B	(2)
スポーツ文化	(2)	ディベート A	(2)
現代人と宗教	(2)	ディベート B	(2)
広告とマーケティング	(2)	ノンバーバルコミュニケーション A	(2)
カルチュラルスタディーズ A	(2)	ノンバーバルコミュニケーション B	(2)
カルチュラルスタディーズ B	(2)	身体表現論	(4)
古典と表象文化 A	(2)	身体表現論 A	(2)
古典と表象文化 B	(2)	身体表現論 B	(2)
テキスト生成と批評 A	(2)	文化人類学 A	(2)
テキスト生成と批評 B	(2)	文化人類学 B	(2)
ポピュラーカルチャー A	(2)	言語学概説	(2)
ポピュラーカルチャー B	(2)	応用言語学 A	(2)
声の文化と文字の文化 A	(2)	応用言語学 B	(2)
声の文化と文字の文化 B	(2)	対照言語学 1	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)	対照言語学 2	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)	対照言語学 3	(2)
近代演劇 A	(2)	文章表現法 A	(1)
近代演劇 B	(2)	文章表現法 B	(1)
ネットワークコミュニケーション A	(2)	書道 1 A	(1)
ネットワークコミュニケーション B	(2)	書道 1 B	(1)
行動科学のためのデータ分析 A	(2)	書道 2 A	(1)
行動科学のためのデータ分析 B	(2)	書道 2 B	(1)
ことばのフィールドワーク A	(2)	日本語教育学概論	(2)

日本語教授法ⅠA	(2)	日本語文化特別演習ⅠB	(1)
日本語教授法ⅠB	(2)	日本語文化特別演習ⅡA	(1)
日本語教授法ⅡA	(2)	日本語文化特別演習ⅡB	(1)
日本語教授法ⅡB	(2)	コミュニケーション特別演習ⅠA	(1)
日本語教育評価法	(2)	コミュニケーション特別演習ⅠB	(1)
日本語教育実習	(3)	コミュニケーション特別演習ⅡA	(1)
日本語教育実習1	(1)	コミュニケーション特別演習ⅡB	(1)
日本語教育実習2	(2)	卒業論文	(6)
日本語文化特別演習ⅠA	(1)		

2004年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	キリスト教と文学	(2)
日本語文化基礎ゼミ	(1)	キリスト教と日本文学	(2)
日本語学概論A	(2)	文学と子ども	(2)
日本語学概論B	(2)	言語と子ども	(2)
日本語史A	(2)	児童文学論A	(2)
日本語史B	(2)	児童文学論B	(2)
日本古典文学史A	(2)	神話・説話の世界	(2)
日本古典文学史B	(2)	物語の世界	(2)
日本近代文学史A	(2)	和歌の世界	(2)
日本近代文学史B	(2)	俳諧の世界	(2)
漢文学概説A	(2)	近世小説の世界	(2)
漢文学概説B	(2)	近現代小説の世界	(2)
言語学概説	(2)	近・現代小説の世界	(4)
日本語資料を読む	(4)	文学と都市空間	(2)
古典文学を読む1	(4)	同時代の文学	(2)
古典文学を読む2	(4)	古代・中世の芸能	(2)
古典文学を読む3	(4)	近世の芸能	(2)
古典文学を読む4	(4)	近代演劇	(2)
近現代文学を読む1	(4)	応用言語学A	(2)
近現代文学を読む2	(4)	応用言語学B	(2)
中国文学を読む	(4)	対照言語学	(2)
上代文学論	(4)	日本の歴史	(2)
中古文学論	(4)	日本思想史	(2)
中古文学論A	(2)	琉球の言語と文学	(2)
中古文学論B	(2)	世界の中の日本文学	(2)
中世文学論	(4)	民俗学	(2)
中世文学論A	(2)	古典文学を歩く	(2)
近世文学論	(4)	近現代文学を歩く	(2)
近世文学論A	(2)	小説・シナリオを創るA	(2)
近世文学論B	(2)	小説・シナリオを創るB	(2)
近現代文学論	(4)	詩・短歌・俳句を創る	(2)
漢文学作品論A	(2)	鎌倉学	(2)
漢文学作品論B	(2)	発声と身体のレッスン	(2)
日本語の形態と構文A	(2)	日本の伝統と文化	(2)
日本語の形態と構文B	(2)	朗読のレッスン	(2)
日本語の意味と語彙A	(2)	文献を探す	(2)
日本語の意味と語彙B	(2)	漢字学入門	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	日中比較言語・文学	(2)
日本語の文体と表現	(2)	絵巻・絵図を読み解くA	(2)
日本語の文体と表現A	(2)	絵巻・絵図を読み解くB	(2)
日本語の文体と表現B	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日本語学文献研究	(2)	書道芸術論	(2)

カルチュラルスタディーズA	(2)	日本語教育学概論A	(2)
カルチュラルスタディーズB	(2)	日本語教育学概論B	(2)
古典と表象文化A	(2)	日本語教育学講読A	(2)
古典と表象文化B	(2)	日本語教育学講読B	(2)
テキスト生成と批評A	(2)	日本語教育論I A	(2)
テキスト生成と批評B	(2)	日本語教育論I B	(2)
ポピュラーカルチャーA	(2)	日本語教育論II A	(2)
ポピュラーカルチャーB	(2)	日本語教育論II B	(2)
声の文化と文字の文化A	(2)	日本語教育特論A	(2)
声の文化と文字の文化B	(2)	日本語教育特論B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)	日本語教育実習1	(1)
ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)	日本語教育実習2	(2)
文章表現法A	(1)	日本言語文化専門ゼミA	(1)
文章表現法B	(1)	日本言語文化専門ゼミB	(1)
書道A	(1)	日本言語文化卒論ゼミA	(1)
書道B	(1)	日本言語文化卒論ゼミB	(1)
日本語教育学概論	(2)	卒業論文	(6)

C 文学部コミュニケーション学科

R&R(入門ゼミ)	(1)	異文化トレーニング	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	ことばのフィールドワーク	(4)
コミュニケーション概論	(4)	エスニックマイノリティの問題を考えるA	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	エスニックマイノリティの問題を考えるB	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	子どもの発達とこれからの教育問題A	(2)
コミュニケーション研究方法の全体像	(2)	子どもの発達とこれからの教育問題B	(2)
実験の研究計画をたてる	(2)	これからの家族問題A	(2)
アンケート・社会調査の方法	(2)	これからの家族問題B	(2)
インタビュー・面接のスキル	(2)	健康・医療におけるコミュニケーションの問題	(2)
話しことばを分析する	(2)	H I V・難病問題と向き合う	(2)
文献・情報の集め方	(2)	P T S Dと被害者のグリーフワーク	(2)
データを数量から読み解く	(2)	ジェンダー問題と男女共同参画社会	(4)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)	障害者の心理学と共生社会	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(4)	エイジングの心理学と高齢社会	(2)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)	アジアとのネットワーク	(2)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)	視覚障害の理解と点字の技法A	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)	視覚障害の理解と点字の技法B	(2)
組織の中の人間関係	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法	(2)
身体としぐさの心理学	(2)	共生のフィールドワーク	(4)
多文化・多言語社会を考える	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	放送文化と制度を考える	(2)
ディアスポラ(離散)の思想	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
異文化のコミュニケーション	(4)	マルチメディアの現在と未来	(4)
異文化のコミュニケーションA	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
異文化のコミュニケーションB	(2)	コンピュータによる調査データの解析A	(2)
文化の心理学	(4)	コンピュータによる調査データの解析B	(2)
文化の心理学A	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
文化の心理学B	(2)	映像取材A	(2)
これからの多文化教育	(2)	映像取材B	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(4)	マルチメディア制作I (CG・DTP編集)A	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	マルチメディア制作I (CG・DTP編集)B	(2)
多文化社会の人間学A	(2)	マルチメディア制作II (情報デザイン)A	(2)
多文化社会の人間学B	(2)	マルチメディア制作II (情報デザイン)B	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)

プレゼンテーションの方法B	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
取材と記事のレッスン	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
ディベートと自己主張	(2)	ポピュラーカルチャーB	(2)
ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
身体表現の技法	(4)	声の文化と文字の文化B	(2)
ファッション文化	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
スポーツ文化	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
現代人と宗教	(2)	児童文学論A	(2)
映画・映像文化	(2)	児童文学論B	(2)
広告とマーケティング	(2)	キリスト教と文学	(2)
カルチュラルスタディーズA	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I A	(1)
カルチュラルスタディーズB	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I B	(1)
古典と表象文化A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II A	(1)
古典と表象文化B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II B	(1)
テキスト生成と批評A	(2)	卒業論文・卒業制作	(6)

#### D 音楽学部共通

2000・2001・2002・2003・2004年度入学者

音楽通史A	(2)	合唱IV A	(1)
音楽通史B	(2)	合唱IV B	(1)
日本音楽通史	(4)	合奏A	(1)
音楽史 1	(2)	合奏B	(1)
音楽史 2	(2)	共演芸術A	(2)
音楽史 3	(2)	共演芸術B	(2)
音楽史 4	(2)	伴奏法 I A	(1)
音楽史 5	(2)	伴奏法 I B	(1)
音楽史 6	(2)	伴奏法 II A	(1)
音楽史 7	(2)	伴奏法 II B	(1)
音楽史 8	(2)	伴奏実習 I	(2)
ソルフェージュ I A	(1)	伴奏実習 II	(2)
ソルフェージュ I B	(1)	室内楽 I A	(1)
ソルフェージュ II A	(1)	室内楽 I B	(1)
ソルフェージュ II B	(1)	室内楽 II A	(1)
和声 I A	(1)	室内楽 II B	(1)
和声 I B	(1)	管弦楽法A	(1)
和声 II A	(1)	管弦楽法B	(1)
和声 II B	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
和声 III A	(1)	作・編曲法A	(1)
和声 III B	(1)	作・編曲法B	(1)
鍵盤和声A	(1)	指揮法A	(1)
鍵盤和声B	(1)	指揮法B	(1)
音楽形式A	(2)	合唱指導研究A	(1)
音楽形式B	(2)	合唱指導研究B	(1)
対位法A	(1)	ピアノ指導研究1	(1)
対位法B	(1)	ピアノ指導研究2	(1)
作品分析A	(1)	オルガン演奏様式研究A	(1)
作品分析B	(1)	オルガン演奏様式研究B	(1)
合唱 I A	(1)	通奏低音A	(1)
合唱 I B	(1)	通奏低音B	(1)
合唱 II A	(1)	即興演奏A	(1)
合唱 II B	(1)	即興演奏B	(1)
合唱 III A	(1)	芸術概論A	(2)
合唱 III B	(1)	芸術概論B	(2)

キリスト教音楽概論A	(2)	オルガン実技ⅡB	(1)
キリスト教音楽概論B	(2)	オルガン実技ⅢA	(1)
讃美歌学A	(2)	オルガン実技ⅢB	(1)
讃美歌学B	(2)	オルガン実技ⅣA	(1)
キリスト教オルガン音楽研究A	(1)	オルガン実技ⅣB	(1)
キリスト教オルガン音楽研究B	(1)	チェンバロ実技ⅠA	(1)
キリスト教オルガン音楽実践A	(1)	チェンバロ実技ⅠB	(1)
キリスト教オルガン音楽実践B	(1)	チェンバロ実技ⅡA	(1)
音楽学特殊講義A	(2)	チェンバロ実技ⅡB	(1)
音楽学特殊講義B	(2)	クラヴィコード実技ⅠA	(1)
映画・舞台音楽論	(2)	クラヴィコード実技ⅠB	(1)
音楽社会学	(2)	クラヴィコード実技ⅡA	(1)
音楽情報論A	(2)	クラヴィコード実技ⅡB	(1)
音楽情報論B	(2)	ヴァイオリン実技ⅠA	(1)
マルチメディア著作権ビジネス	(2)	ヴァイオリン実技ⅠB	(1)
アート・マネージメント	(2)	ヴァイオリン実技ⅡA	(1)
アナウンス・朗読	(2)	ヴァイオリン実技ⅡB	(1)
民族音楽概論A	(2)	ヴィオラ実技ⅠA	(1)
民族音楽概論B	(2)	ヴィオラ実技ⅠB	(1)
民族音楽演習A	(1)	ヴィオラ実技ⅡA	(1)
民族音楽演習B	(1)	ヴィオラ実技ⅡB	(1)
邦楽1	(1)	チェロ実技ⅠA	(1)
邦楽2	(1)	チェロ実技ⅠB	(1)
日本音楽文化A	(2)	チェロ実技ⅡA	(1)
日本音楽文化B	(2)	チェロ実技ⅡB	(1)
音楽資料リサーチA	(2)	コントラバス実技ⅠA	(1)
音楽資料リサーチB	(2)	コントラバス実技ⅠB	(1)
環境音楽1	(2)	コントラバス実技ⅡA	(1)
環境音楽2	(2)	コントラバス実技ⅡB	(1)
医療と音楽1	(2)	フルート実技ⅠA	(1)
心と音楽1	(2)	フルート実技ⅠB	(1)
音声生理学A	(2)	フルート実技ⅡA	(1)
音声生理学B	(2)	フルート実技ⅡB	(1)
楽器学A	(2)	オーボエ実技ⅠA	(1)
楽器学B	(2)	オーボエ実技ⅠB	(1)
音響学A	(2)	オーボエ実技ⅡA	(1)
音響学B	(2)	オーボエ実技ⅡB	(1)
海外音楽研修	(2)	クラリネット実技ⅠA	(1)
声楽実技ⅠA	(1)	クラリネット実技ⅠB	(1)
声楽実技ⅠB	(1)	クラリネット実技ⅡA	(1)
声楽実技ⅡA	(1)	クラリネット実技ⅡB	(1)
声楽実技ⅡB	(1)	ファゴット実技ⅠA	(1)
ピアノ実技Ⅰ	(1)	ファゴット実技ⅠB	(1)
ピアノ実技Ⅱ	(1)	ファゴット実技ⅡA	(1)
ピアノ実技Ⅲ	(1)	ファゴット実技ⅡB	(1)
ピアノ実技Ⅳ	(1)	ホルン実技ⅠA	(1)
ピアノ実技Ⅴ	(1)	ホルン実技ⅠB	(1)
ピアノ実技Ⅵ	(1)	ホルン実技ⅡA	(1)
ピアノ実技Ⅶ	(1)	ホルン実技ⅡB	(1)
ピアノ実技Ⅷ	(1)	トランペット実技ⅠA	(1)
オルガン実技ⅠA	(1)	トランペット実技ⅠB	(1)
オルガン実技ⅠB	(1)	トランペット実技ⅡA	(1)
オルガン実技ⅡA	(1)	トランペット実技ⅡB	(1)

トロンボーン実技ⅠA	(1)	リコーダー実技ⅡB	(1)
トロンボーン実技ⅠB	(1)	ヴィオラ・ダ・ガンバ実技ⅠA	(1)
トロンボーン実技ⅡA	(1)	ヴィオラ・ダ・ガンバ実技ⅠB	(1)
トロンボーン実技ⅡB	(1)	ヴィオラ・ダ・ガンバ実技ⅡA	(1)
リコーダー実技ⅠA	(1)	ヴィオラ・ダ・ガンバ実技ⅡB	(1)
リコーダー実技ⅠB	(1)	公開演奏Ⅰ	(2)
リコーダー実技ⅡA	(1)	公開演奏Ⅱ	(2)

E 音楽学部器楽学科

2000・2001・2002年度入学者

専攻実技ピアノⅠ	(2)	専攻実技鍵盤楽器特別演習ⅡA	(1)
専攻実技ピアノⅡ	(2)	専攻実技鍵盤楽器特別演習ⅡB	(1)
専攻実技ピアノⅢ	(2)	専攻実技弦楽器特別演習ⅠA	(1)
専攻実技ピアノⅣ	(2)	専攻実技弦楽器特別演習ⅠB	(1)
専攻実技ピアノⅤ	(2)	専攻実技弦楽器特別演習ⅡA	(1)
専攻実技ピアノⅥ	(2)	専攻実技弦楽器特別演習ⅡB	(1)
専攻実技ピアノⅦ	(2)	専攻実技管楽器特別演習ⅠA	(1)
専攻実技ピアノⅧ	(2)	専攻実技管楽器特別演習ⅠB	(1)
専攻実技オルガンⅠ	(2)	専攻実技管楽器特別演習ⅡA	(1)
専攻実技オルガンⅡ	(2)	専攻実技管楽器特別演習ⅡB	(1)
専攻実技オルガンⅢ	(2)	器楽アンサンブルⅠA	(1)
専攻実技オルガンⅣ	(2)	器楽アンサンブルⅠB	(1)
専攻実技オルガンⅤ	(2)	器楽アンサンブルⅡA	(1)
専攻実技オルガンⅥ	(2)	器楽アンサンブルⅡB	(1)
専攻実技オルガンⅦ	(2)	器楽アンサンブルⅢA	(1)
専攻実技オルガンⅧ	(2)	器楽アンサンブルⅢB	(1)
専攻実技弦楽器Ⅰ	(2)	器楽アンサンブルⅣA	(1)
専攻実技弦楽器Ⅱ	(2)	器楽アンサンブルⅣB	(1)
専攻実技弦楽器Ⅲ	(2)	室内管弦楽ⅠA	(2)
専攻実技弦楽器Ⅳ	(2)	室内管弦楽ⅠB	(2)
専攻実技弦楽器Ⅴ	(2)	室内管弦楽ⅡA	(2)
専攻実技弦楽器Ⅵ	(2)	室内管弦楽ⅡB	(2)
専攻実技弦楽器Ⅶ	(2)	学内演奏	(4)
専攻実技弦楽器Ⅷ	(2)	クラヴィコード実技A	(1)
専攻実技管楽器Ⅰ	(2)	クラヴィコード実技B	(1)
専攻実技管楽器Ⅱ	(2)	器楽特殊講義A	(2)
専攻実技管楽器Ⅲ	(2)	器楽特殊講義B	(2)
専攻実技管楽器Ⅳ	(2)	器楽スペシャル講義	(2)
専攻実技管楽器Ⅴ	(2)	器楽作品研究A	(2)
専攻実技管楽器Ⅵ	(2)	器楽作品研究B	(2)
専攻実技管楽器Ⅶ	(2)	ピアノデュオⅠA	(1)
専攻実技管楽器Ⅷ	(2)	ピアノデュオⅠB	(1)
専攻実技器楽特別演習	(1)	ピアノデュオⅡA	(1)
専攻実技鍵盤楽器特別演習ⅠA	(1)	ピアノデュオⅡB	(1)
専攻実技鍵盤楽器特別演習ⅠB	(1)	卒業演奏	(6)

2003・2004年度入学者

専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅰ	(3)	専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅵ	(3)
専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅱ	(3)	専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅶ	(3)
専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅲ	(3)	専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅷ	(3)
専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅳ	(3)	専攻実技演奏法(オルガン)Ⅰ	(3)
専攻実技演奏法(ピアノ)Ⅴ	(3)	専攻実技演奏法(オルガン)Ⅱ	(3)

専攻実技演奏法 (オルガン) III	(3)	専攻実技弦楽器特別演習 II A	(1)
専攻実技演奏法 (オルガン) IV	(3)	専攻実技弦楽器特別演習 II B	(1)
専攻実技演奏法 (オルガン) V	(3)	専攻実技管楽器特別演習 I A	(1)
専攻実技演奏法 (オルガン) VI	(3)	専攻実技管楽器特別演習 I B	(1)
専攻実技演奏法 (オルガン) VII	(3)	専攻実技管楽器特別演習 II A	(1)
専攻実技演奏法 (オルガン) VIII	(3)	専攻実技管楽器特別演習 II B	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) I	(3)	器楽アンサンブル I A	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) II	(3)	器楽アンサンブル I B	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) III	(3)	器楽アンサンブル II A	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) IV	(3)	器楽アンサンブル II B	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) V	(3)	器楽アンサンブル III A	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) VI	(3)	器楽アンサンブル III B	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) VII	(3)	器楽アンサンブル IV A	(1)
専攻実技演奏法 (弦楽器) VIII	(3)	器楽アンサンブル IV B	(1)
専攻実技演奏法 (管楽器) I	(3)	管弦アンサンブル A	(2)
専攻実技演奏法 (管楽器) II	(3)	管弦アンサンブル B	(2)
専攻実技演奏法 (管楽器) III	(3)	学内演奏	(4)
専攻実技演奏法 (管楽器) IV	(3)	クラヴィコード実技 A	(1)
専攻実技演奏法 (管楽器) V	(3)	クラヴィコード実技 B	(1)
専攻実技演奏法 (管楽器) VI	(3)	器楽特殊講義 A	(2)
専攻実技演奏法 (管楽器) VII	(3)	器楽特殊講義 B	(2)
専攻実技演奏法 (管楽器) VIII	(3)	器楽スペシャル講義	(2)
専攻実技器楽特別演習	(1)	器楽作品研究 A	(2)
専攻実技鍵盤楽器特別演習 I A	(1)	器楽作品研究 B	(2)
専攻実技鍵盤楽器特別演習 I B	(1)	ピアノデュオ I A	(1)
専攻実技鍵盤楽器特別演習 II A	(1)	ピアノデュオ I B	(1)
専攻実技鍵盤楽器特別演習 II B	(1)	ピアノデュオ II A	(1)
専攻実技弦楽器特別演習 I A	(1)	ピアノデュオ II B	(1)
専攻実技弦楽器特別演習 I B	(1)	卒業演奏	(6)

F 音楽学部音楽芸術学科  
2004年度入学者

専攻音楽芸術 (作曲) I	(3)	応用ピアノレパートリー I	(2)
専攻音楽芸術 (作曲) II	(3)	応用ピアノレパートリー II	(2)
専攻音楽芸術 (作曲) III	(3)	応用ピアノレパートリー III	(2)
専攻音楽芸術 (作曲) IV	(3)	応用ピアノレパートリー IV	(2)
専攻音楽芸術 (音楽学) I	(3)	公開発表 I	(2)
専攻音楽芸術 (音楽学) II	(3)	公開発表 II	(2)
専攻音楽芸術 (音楽学) III	(3)	音楽文化実習 1	(2)
専攻音楽芸術 (音楽文化研究) III	(3)	音楽文化実習 2	(2)
専攻音楽芸術 (音楽文化研究) IV	(3)	専攻音楽芸術 (音楽学) IV	(3)
作曲演習 I A	(1)	専攻音楽芸術 (演奏表現) I	(3)
作曲演習 I B	(1)	専攻音楽芸術 (演奏表現) II	(3)
作曲演習 II A	(1)	専攻音楽芸術 (演奏表現) III	(3)
作曲演習 II B	(1)	専攻音楽芸術 (演奏表現) IV	(3)
音楽学演習 I A	(1)	専攻音楽芸術 (音楽文化研究) I	(3)
音楽学演習 I B	(1)	専攻音楽芸術 (音楽文化研究) II	(3)
音楽学演習 II A	(1)	器楽アンサンブル I A	(1)
音楽学演習 II B	(1)	器楽アンサンブル I B	(1)
基礎ピアノレパートリー I	(2)	器楽アンサンブル II A	(1)
基礎ピアノレパートリー II	(2)	器楽アンサンブル II B	(1)
基礎ピアノレパートリー III	(2)	器楽アンサンブル III A	(1)
基礎ピアノレパートリー IV	(2)	器楽アンサンブル III B	(1)

器楽アンサンブルⅣA	(1)	コンピュータ音楽制作	(2)
器楽アンサンブルⅣB	(1)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
管弦アンサンブルA	(2)	舞台制作ワークショップ	(2)
管弦アンサンブルB	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
ポピュラー音楽理論	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
即興演奏ワークショップ	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
ジャズ・ポップス実践ワークショップ	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)
メディア・アート	(2)	卒業研究	(6)

2005・2006・2007・2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	日本音楽史特殊講義	(2)
音楽基礎理論	(2)	ポピュラー音楽史	(2)
合唱ⅠA	(1)	映画・舞台音楽論	(2)
合唱ⅠB	(1)	音楽社会学	(2)
基礎声楽A	(1)	楽器法	(2)
基礎声楽B	(1)	諸民族の音楽A	(2)
基礎ピアノA	(1)	諸民族の音楽B	(2)
基礎ピアノB	(1)	対位法の魅力	(2)
和声ⅠA	(2)	音楽情報論	(2)
和声ⅠB	(2)	音楽ジャーナリズム	(2)
ソルフェージュ1	(1)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
ソルフェージュ2	(1)	訳詞の世界	(2)
ソルフェージュ3	(1)	作曲を楽しもうA	(2)
ソルフェージュ4	(1)	作曲を楽しもうB	(2)
賛美歌学	(2)	作・編曲法A	(2)
キリスト教オルガン音楽概論	(2)	作・編曲法B	(2)
キリスト教オルガン実技	(1)	メディア・アート	(2)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	コンピュータ音楽制作	(2)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
和声ⅡA	(2)	アート・マネジメント	(2)
和声ⅡB	(2)	舞台制作ワークショップ	(2)
作品分析	(2)	アナウンス・朗読	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
即興演奏ワークショップ	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
ジャズ・ポップス実践ワークショップ	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
合奏A	(1)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)
合奏B	(1)	指揮法A	(2)
伴奏法A	(1)	医療と音楽1	(2)
伴奏法B	(1)	医療と音楽2	(2)
邦楽1	(1)	心と音楽1	(2)
邦楽2	(1)	心と音楽2	(2)
合唱ⅡA	(1)	専門ゼミⅠ	(1)
合唱ⅡB	(1)	専門ゼミⅡ	(1)
キリスト教音楽概論1	(2)	専門ゼミⅢ	(1)
キリスト教音楽概論2	(2)	専門ゼミⅣ	(1)
西洋音楽通史	(4)	学外公開発表Ⅰ	(1)
日本音楽通史	(4)	学外公開発表Ⅱ	(1)
西洋音楽史特殊講義1	(2)	海外音楽研修	(2)
西洋音楽史特殊講義2	(2)	卒業プロジェクト	(6)

2011年度以降入学者

音楽家の基礎知識	(2)	合唱ⅠA	(1)
音楽基礎理論	(2)	合唱ⅠB	(1)

基礎声楽A	(1)	音楽情報論	(2)
基礎声楽B	(1)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
基礎ピアノA	(1)	メディア・アート	(2)
基礎ピアノB	(1)	コンピュータ音楽制作1	(2)
和声ⅠA	(2)	コンピュータ音楽制作2	(2)
和声ⅠB	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
ソルフェージュ1	(1)	アート・マネージメント	(2)
ソルフェージュ2	(1)	環境音楽デザイン	(2)
ソルフェージュ3	(1)	舞台制作ワークショップ	(2)
ソルフェージュ4	(1)	身体表現ワークショップ1	(1)
賛美歌学	(2)	身体表現ワークショップ2	(1)
キリスト教音楽概論1	(2)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽概論2	(2)	番組制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽基礎	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
キリスト教音楽実践	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
和声ⅡA	(2)	アナウンス・朗読	(2)
和声ⅡB	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
伴奏法A	(1)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
伴奏法B	(1)	作曲を楽しもうA	(1)
ジャズ・ポップス入門	(2)	作曲を楽しもうB	(1)
対位法A	(2)	ポップスを楽しもう	(1)
対位法B	(2)	バンドを楽しもう	(1)
共演芸術A	(2)	アンサンブルを楽しもう	(1)
共演芸術B	(2)	作・編曲法	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(1)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(1)
合唱ⅡA	(1)	合奏	(1)
合唱ⅡB	(1)	指揮法A	(2)
作品分析	(2)	指揮法B	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	音楽ジャーナリズム	(2)
邦楽1	(1)	訳詞の世界	(2)
邦楽2	(1)	医療と音楽	(2)
編曲のテクニック	(2)	心と音楽	(2)
西洋音楽通史	(4)	音楽療法1	(2)
日本音楽通史	(4)	音楽療法2	(2)
音楽社会学	(2)	専門ゼミⅠ	(1)
諸民族の音楽A	(2)	専門ゼミⅡ	(1)
諸民族の音楽B	(2)	専門ゼミⅢ	(1)
西洋音楽史特殊講義1	(2)	専門ゼミⅣ	(1)
西洋音楽史特殊講義2	(2)	学外公开发表Ⅰ	(1)
日本音楽史特殊講義	(2)	学外公开发表Ⅱ	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	海外音楽研修	(2)
映画・舞台音楽論	(2)	卒業プロジェクト	(6)
現代音楽レパートリー	(2)		

#### G 音楽学部演奏学科

2005・2006・2007・2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	ソルフェージュ1	(1)
音楽基礎理論	(2)	ソルフェージュ2	(1)
合唱ⅠA	(1)	ソルフェージュ3	(1)
合唱ⅠB	(1)	ソルフェージュ4	(1)
和声ⅠA	(2)	ソルフェージュⅠA	(1)
和声ⅠB	(2)	ソルフェージュⅠB	(1)

ソルフェージュⅡA	(1)	邦楽2	(1)
ソルフェージュⅡB	(1)	伴奏法A	(1)
ソルフェージュⅢA	(1)	伴奏法B	(1)
ソルフェージュⅢB	(1)	キリスト教音楽概論1	(2)
ソルフェージュⅣA	(1)	キリスト教音楽概論2	(2)
ソルフェージュⅣB	(1)	西洋音楽通史	(4)
キリスト教オルガン実践基礎	(1)	日本音楽通史	(4)
キリスト教オルガン実践応用	(1)	諸民族の音楽A	(2)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	諸民族の音楽B	(2)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	声楽スペシャル講義	(2)
和声ⅡA	(2)	器楽スペシャル講義	(2)
和声ⅡB	(2)	現代音楽レパートリー	(2)
音楽様式研究	(2)	作・編曲法A	(2)
副科実技(声楽)A	(1)	作・編曲法B	(2)
副科実技(声楽)B	(1)	声楽指導ワークショップA	(2)
副科実技(器楽)A	(1)	声楽指導ワークショップB	(2)
副科実技(器楽)B	(1)	オルガン指導ワークショップA	(2)
第2副科実技(声楽)A	(2)	オルガン指導ワークショップB	(2)
第2副科実技(声楽)B	(2)	ピアノ指導ワークショップA	(2)
第2副科実技(器楽)A	(2)	ピアノ指導ワークショップB	(2)
第2副科実技(器楽)B	(2)	指揮法A	(2)
第2副科実技(作曲)A	(2)	指揮法B	(2)
第2副科実技(作曲)B	(2)	身体表現の技法	(4)
イタリア語歌唱法A	(1)	アーティストのための身体表現A	(2)
イタリア語歌唱法B	(1)	アーティストのための身体表現B	(2)
ドイツ語歌唱法A	(1)	専攻実技(声楽)Ⅰ	(3)
ドイツ語歌唱法B	(1)	専攻実技(声楽)Ⅱ	(3)
フランス語歌唱法	(1)	専攻実技(声楽)Ⅲ	(3)
英語歌唱法	(1)	専攻実技(声楽)Ⅳ	(3)
日本語歌唱法A	(1)	専攻実技(声楽)Ⅴ	(3)
日本語歌唱法B	(1)	専攻実技(声楽)Ⅵ	(3)
室内楽ⅠA	(1)	専攻実技(声楽)Ⅶ	(3)
室内楽ⅠB	(1)	専攻実技(声楽)Ⅷ	(3)
室内楽ⅡA	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅰ	(3)
室内楽ⅡB	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅱ	(3)
管弦アンサンブルA	(2)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅲ	(3)
管弦アンサンブルB	(2)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅳ	(3)
ピアノ・デュオA	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅴ	(3)
ピアノ・デュオB	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅵ	(3)
オペラ・アンサンブルA	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅶ	(3)
オペラ・アンサンブルB	(1)	専攻実技(鍵盤楽器)Ⅷ	(3)
声楽アンサンブルA	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅰ	(3)
声楽アンサンブルB	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅱ	(3)
オラトリオ研究A	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅲ	(3)
オラトリオ研究B	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅳ	(3)
共演芸術A	(2)	専攻実技(弦楽器)Ⅴ	(3)
共演芸術B	(2)	専攻実技(弦楽器)Ⅵ	(3)
合唱ⅡA	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅶ	(3)
合唱ⅡB	(1)	専攻実技(弦楽器)Ⅷ	(3)
合唱ⅢA	(1)	専攻実技(管楽器)Ⅰ	(3)
合唱ⅢB	(1)	専攻実技(管楽器)Ⅱ	(3)
伴奏実習	(1)	専攻実技(管楽器)Ⅲ	(3)
邦楽1	(1)	専攻実技(管楽器)Ⅳ	(3)

専攻実技（管楽器）Ⅴ	(3)	第2専攻実技（声楽）Ⅷ	(3)
専攻実技（管楽器）Ⅵ	(3)	第2専攻実技（鍵盤楽器）Ⅴ	(3)
専攻実技（管楽器）Ⅶ	(3)	第2専攻実技（鍵盤楽器）Ⅵ	(3)
専攻実技（管楽器）Ⅷ	(3)	第2専攻実技（鍵盤楽器）Ⅶ	(3)
専攻実技ソリスト育成特別レッスンⅠ	(3)	第2専攻実技（鍵盤楽器）Ⅷ	(3)
専攻実技ソリスト育成特別レッスンⅡ	(3)	第2専攻実技（弦楽器）Ⅴ	(3)
専攻実技特別レッスン	(3)	第2専攻実技（弦楽器）Ⅵ	(3)
学外公開演奏	(1)	第2専攻実技（弦楽器）Ⅶ	(3)
学内演奏	(4)	第2専攻実技（弦楽器）Ⅷ	(3)
学内ソロ・コンサート	(4)	第2専攻実技（管楽器）Ⅴ	(3)
国内音楽研修	(1)	第2専攻実技（管楽器）Ⅵ	(3)
海外音楽研修	(2)	第2専攻実技（管楽器）Ⅶ	(3)
第2専攻実技（声楽）Ⅴ	(3)	第2専攻実技（管楽器）Ⅷ	(3)
第2専攻実技（声楽）Ⅵ	(3)	卒業演奏	(6)
第2専攻実技（声楽）Ⅶ	(3)		

2011年度以降入学者

専攻実技（声楽）ⅠA	(3)	卒業公開演奏	(6)
専攻実技（声楽）ⅠB	(3)	ソルフェージュⅠA	(1)
専攻実技（声楽）ⅡA	(3)	ソルフェージュⅠB	(1)
専攻実技（声楽）ⅡB	(3)	ソルフェージュⅡA	(1)
専攻実技（声楽）ⅢA	(3)	ソルフェージュⅡB	(1)
専攻実技（声楽）ⅢB	(3)	ソルフェージュⅢA	(1)
専攻実技（声楽）ⅣA	(3)	ソルフェージュⅢB	(1)
専攻実技（声楽）ⅣB	(3)	ソルフェージュⅣA	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅠA	(3)	ソルフェージュⅣB	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅠB	(3)	ソルフェージュⅤA	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅡA	(3)	ソルフェージュⅤB	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅡB	(3)	ソルフェージュⅥA	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅢA	(3)	ソルフェージュⅥB	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅢB	(3)	ソルフェージュⅦA	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅣA	(3)	ソルフェージュⅦB	(1)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅣB	(3)	ソルフェージュⅧA	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅠA	(3)	ソルフェージュⅧB	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅠB	(3)	管弦アンサンブルA	(2)
専攻実技（弦楽器）ⅡA	(3)	管弦アンサンブルB	(2)
専攻実技（弦楽器）ⅡB	(3)	ブラスアンサンブルA	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅢA	(3)	ブラスアンサンブルB	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅢB	(3)	合唱ⅠA	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅣA	(3)	合唱ⅠB	(1)
専攻実技（弦楽器）ⅣB	(3)	合唱ⅡA	(1)
専攻実技（管楽器）ⅠA	(3)	合唱ⅡB	(1)
専攻実技（管楽器）ⅠB	(3)	合唱ⅢA	(1)
専攻実技（管楽器）ⅡA	(3)	合唱ⅢB	(1)
専攻実技（管楽器）ⅡB	(3)	ピアノデュオA	(1)
専攻実技（管楽器）ⅢA	(3)	ピアノデュオB	(1)
専攻実技（管楽器）ⅢB	(3)	伴奏法A	(1)
専攻実技（管楽器）ⅣA	(3)	伴奏法B	(1)
専攻実技（管楽器）ⅣB	(3)	声楽アンサンブルA	(1)
2年次修了公開演奏	(3)	声楽アンサンブルB	(1)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ	(3)	オペラ・アンサンブルA	(1)
国内音楽研修	(1)	オペラ・アンサンブルB	(1)
海外音楽研修	(2)	室内楽ⅠA	(1)

室内楽 1 B	(1)	キリスト教オルガン音楽実践 B	(1)
室内楽 2 A	(1)	キリスト教オルガン音楽研究 A	(2)
室内楽 2 B	(1)	キリスト教オルガン音楽研究 B	(2)
室内楽 3 A	(1)	キリスト教音楽概論 1	(2)
室内楽 3 B	(1)	キリスト教音楽概論 2	(2)
室内楽 4 A	(1)	オラトリオ研究 A	(1)
室内楽 4 B	(1)	オラトリオ研究 B	(1)
伴奏実習	(1)	演奏のためのからだづくり A	(1)
邦楽 1	(1)	演奏のためのからだづくり B	(1)
邦楽 2	(1)	アーティストのための身体表現 A	(1)
和声 I A	(2)	アーティストのための身体表現 B	(1)
和声 I B	(2)	身体表現の技法	(4)
和声 II A	(2)	演奏プロフェッショナル スタディ A	(1)
和声 II B	(2)	演奏プロフェッショナル スタディ B	(1)
副科ピアノクラス A	(1)	学外公開演奏	(1)
副科ピアノクラス B	(1)	ピアノ指導ワークショップ A	(2)
副科声楽クラス A	(1)	ピアノ指導ワークショップ B	(2)
副科声楽クラス B	(1)	幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)
西洋音楽通史	(4)	幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)
日本音楽通史	(4)	チャペルクワイア指導ワークショップ A	(2)
対位法 A	(2)	チャペルクワイア指導ワークショップ B	(2)
対位法 B	(2)	作・編曲法	(2)
音楽様式研究	(2)	編曲のテクニック	(2)
通奏低音	(2)	指揮法 A	(2)
鍵盤和声	(2)	指揮法 B	(2)
楽曲分析 A	(2)	起業家育成ワークショップ A	(2)
楽曲分析 B	(2)	起業家育成ワークショップ B	(2)
共演芸術 A	(2)	P A 初習副科個人実技 A	(1)
共演芸術 B	(2)	P A 初習副科個人実技 B	(1)
現代音楽レパートリー	(2)	P A 副科個人実技 A	(2)
諸民族の音楽 A	(2)	P A 副科個人実技 B	(2)
諸民族の音楽 B	(2)	P A 副科グループ実技 A	(1)
声楽歌唱法	(1)	P A 副科グループ実技 B	(1)
演奏スペシャル講義 A	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 A	(3)
演奏スペシャル講義 B	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 B	(3)
キリスト教オルガン音楽実践 A	(1)		

#### H 国際交流学部国際交流学科

導入演習	(1)	国際移民・労働移動	(2)
研究入門	(2)	在日外国人	(2)
基礎演習	(1)	余暇と旅行	(2)
人文地理学	(2)	外国人関係諸法 A	(2)
地誌	(2)	外国人関係諸法 B	(2)
地球環境	(2)	地球社会現地実習	(2)
環境保全行動論	(2)	民族問題	(2)
環境と社会	(2)	文化摩擦	(2)
環境と社会運動	(2)	平和思想と運動	(2)
南北問題	(2)	軍縮問題	(2)
自然地理学	(2)	地域社会研究 A	(2)
人口問題	(2)	地域社会研究 B	(2)
家族計画・保健	(2)	英語文献購読 (地域社会)	(2)
家族・福祉	(2)	世界史概説 A	(2)
身近な環境を知る	(2)	世界史概説 B	(2)

現代文化論 A	(2)	イギリスの思想・宗教 A	(2)
現代文化論 B	(2)	イギリスの思想・宗教 B	(2)
現代社会論	(4)	イギリス文化論総説 A	(2)
文化交流論	(4)	イギリス文化論総説 B	(2)
世界宗教論	(2)	アメリカ史	(4)
観光文化論	(2)	アメリカの政治と社会 A	(2)
日本史概説 A	(2)	アメリカの政治と社会 B	(2)
日本史概説 B	(2)	アメリカの思想・宗教 A	(2)
日本政治外交史	(4)	アメリカの思想・宗教 B	(2)
日本文化論	(4)	現代アメリカ論	(4)
日本の文化交流	(2)	カナダの政治と社会	(4)
日本の行政・地方自治法 A	(2)	ラテンアメリカ地域文化研究	(4)
日本の行政・地方自治法 B	(2)	オーストラリア地域文化研究 A	(2)
日本経済論	(2)	オーストラリア地域文化研究 B	(2)
横浜学	(4)	国際社会研究 A	(2)
アジア近・現代史	(4)	国際社会研究 B	(2)
アジアと日本 (日朝・日中)	(4)	英語文献購読 (国際社会)	(2)
アジアの政治と社会 1 (中国研究)	(4)	国際関係論	(2)
アジアの政治と社会 2 (朝鮮研究)	(4)	国際法 A	(2)
アジアの政治と社会 3 (東南アジア研究 1)	(4)	国際法 B	(2)
アジアの政治と社会 4 (東南アジア研究 2) A	(2)	比較法	(4)
アジアの政治と社会 4 (東南アジア研究 2) B	(2)	比較憲法	(4)
アジアの政治と社会 5 (南アジア研究 1)	(4)	国際人権法	(2)
アジアの思想・宗教 1 (仏教) A	(2)	アジア現地実習	(2)
アジアの思想・宗教 1 (仏教) B	(2)	国際政治学	(4)
アジアの思想・宗教 2 (儒教)	(4)	国際政治学 A	(2)
アジアの思想・宗教 3 (イスラム) A	(2)	国際政治学 B	(2)
アジアの思想・宗教 3 (イスラム) B	(2)	国際機構論	(4)
アジアの文化 1 (文学)	(2)	国際統合論	(2)
アジアの文化 2 (芸術) A	(2)	国際平和論	(4)
アジアの文化 2 (芸術) B	(2)	現代外交論	(2)
資源問題	(2)	統治機構・人権論	(4)
ヨーロッパ世界の近・現代史	(4)	統治機構・人権論 A	(2)
ヨーロッパ統合	(4)	統治機構・人権論 B	(2)
ヨーロッパ女性論	(2)	国際関係史 A	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 1 (西欧研究)	(4)	国際関係史 B	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 2 (南欧研究)	(4)	日米外交史	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 3 (ロシア・東欧研究) A	(2)	政治思想史 A	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 3 (ロシア・東欧研究) B	(2)	政治思想史 B	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 4 (北欧研究) A	(2)	日本社会思想史	(4)
ヨーロッパ世界の政治と社会 4 (北欧研究) B	(2)	国際政治経済学 A	(2)
ヨーロッパ世界の思想・宗教 1 (キリスト教)	(2)	国際政治経済学 B	(2)
ヨーロッパ世界の思想・宗教 2 (近・現代思潮)	(2)	国際経済論	(4)
ヨーロッパ世界の文化 1 (文学)	(4)	国際経済史	(4)
ヨーロッパ世界の文化 2 (芸術) A	(2)	政治学概論	(2)
ヨーロッパ世界の文化 2 (芸術) B	(2)	国際ビジネス論 A	(2)
ヨーロッパ世界の文化 3 (文学と言語) A	(2)	国際ビジネス論 B	(2)
ヨーロッパ世界の文化 3 (文学と言語) B	(2)	企業と社会	(2)
ヨーロッパ現地実習	(2)	社会学概論 A	(2)
イギリス史 A	(2)	社会学概論 B	(2)
イギリス史 B	(2)	国際社会学 A	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	国際社会学 B	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	国際開発論	(4)

国際協力論	(2)	グローバル社会経済論	(2)
地域の国際交流・協力	(2)	情報処理論	(2)
国際交通論	(2)	情報処理演習	(1)
社会統計学A	(2)	国際情報流通論	(2)
社会統計学B	(2)	国際情報処理演習	(1)
国際NGO論	(4)	専門演習	(1)
余暇社会学	(2)	卒業論文	(6)
社会経済思想史	(4)		

## 別表第3 教職に関する科目（第3条関係）

（ ）内は単位数

2000・2001・2002・2003・2004年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道徳教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法Ⅱ	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
音楽科教育法Ⅰ	(2)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(2)	教育実習3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2005・2006・2007・2008・2009年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道徳教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法Ⅱ	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	教育実習3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2010年度以降入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道徳教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法Ⅱ	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(2)	教育実習1	(1)
国語科教育法Ⅱ	(2)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	教育実習3	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	教職実践演習（中・高）	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

**別表第4** 日本語科目及び日本事情に関する科目（第3条の2関係） （ ）内は単位数  
 （外国人留学生対象）

2000・2001・2002・2003・2004年度入学者

基礎日本語（入門）	(1)	基礎日本語（上級）	(1)
基礎日本語（初級）	(1)	日本事情A	(2)
基礎日本語（中級）	(1)	日本事情B	(2)

2005年度以降入学者

留学生日本語Ⅰ	(1)	日本事情A	(2)
留学生日本語Ⅱ	(1)	日本事情B	(2)

別表第5 卒業に必要な単位 (第18条関係)

A 文学部

2002・2003年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		英文学科	日本文学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文	6	6	
	選択必修科目	32	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学科及び他学部他学科の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2004年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英文学科	日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得し				自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所

	た単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	属学科及び他学部他学科の専門科目とする。
--	---	-----	-----	-----	----------------------

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## B 音楽学部

2000年度・2001年度・2002年度入学者

区分		卒業に必要な単位数			備考
		声楽学科	器楽学科	楽理学科	
共通科目	基礎教養科目	2	2	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	8	8	8	
専門科目	卒業演奏又は卒業研究	6	6	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ピアノ選択者</li> <li>②オルガン選択者</li> <li>③弦楽器選択者</li> <li>④管楽器選択者</li> </ul>
	必修科目	42	①22 ②24 ③18 ④18	30	
	選択必修科目	2	①18 ②16 ③18 ④18	14	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2004年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		声楽学科	器楽学科	音楽芸術学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として22単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	8	8	8	
専門 科目	卒業演奏又は卒業研究	6	6	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ピアノ選択者</li> <li>②オルガン選択者</li> <li>③弦楽器選択者</li> <li>④管楽器選択者</li> </ul>
	必 修 科 目	50	①18 ②20 ③18 ④18	30	
	選択必修科目	2	①26 ②24 ③26 ④26	18	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2005年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	

専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業演奏	6	6	
	選択必修科目	34	42	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

### C 国際交流学部

2005年度以前入学者

区 分	卒業に必要な単位数		備 考
	国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目	2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	
	語 学 科 目	10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	9	
	選択必修科目	20	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2006・2007・2008年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目		2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目		2	
	語 学 科 目		10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文		6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目		8	
	選択必修科目		20	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計		124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2009年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目		2	基礎教養科目については、キリスト教科目4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目		2	
	語 学 科 目		10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文		6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目		8	
	選択必修科目		32	

合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。
----	---	-----	---

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

別表第6（第35条関係）

入学検定料

文学部 国際交流学部	35,000円
音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科	35,000円 45,000円
大学入試センター 試験利用入学試験 (全学部)	15,000円

備考

入学試験を一次選考と二次選考に分けて実施する場合の入学検定料は、次のとおりとする。

一次選考料 10,000円

二次選考料 表中の入学検定料と一次選考料の差額

別表第7（第36条及び第36条の2関係）

入学金、授業料等学納金

A 文学部、国際交流学部 2006年度以前入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		380,000円	—	入学手続時のみ納入	
授業料等学納金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	300,000円	—	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
		入学翌年度以降	200,000円	—	
	実 習 費		7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		1,042,500円			
入学年度納入金総額		1,405,000円			
入学翌年度以降納入金総額		925,000円			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする
- 2 2005年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。

B 文学部、国際交流学部 2007年度入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学手続時のみ納入	
授業料等学納金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	122,500円	122,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
		入学翌年度以降	122,500円	122,500円	
	実 習 費		7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		785,000円			
入学年度納入金総額		1,270,000円			
入学翌年度以降納入金総額		970,000円			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 2007年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

C 文学部、国際交流学部 2008年度・2009年度・2010年度入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学手続時のみ納入	
授業料等学納金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
		入学翌年度以降	142,500円	142,500円	
	実 習 費		7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円			
入学年度納入金総額		1,310,000円			
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円			

## 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 2008年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

## D 文学部、国際交流学部 2011年度以降入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学手続時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	350,000円	355,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
		入学翌年度以降	142,500円	142,500円	
	実 習 費		7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円			
入学年度納入金総額		1,310,000円			
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円			

## 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 2011年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「PA副科個人実技A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 2011年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「PA副科グループ実技A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

## E 音楽学部 2004年度以前入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		440,000円	—	入学手続時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	590,000円	590,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	470,000円	—	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
		入学翌年度以降	352,000円	—	
	実 習 費		55,000円	55,000円	在学中納入
入学時納入金総額		1,555,000円			
入学年度納入金総額		2,200,000円			
入学翌年度以降納入金総額		1,642,000円			

## 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。

F 音楽学部 2005年度・2006年度入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		380,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	470,000円	—	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
		入学翌年度以降	352,000円	—	
実 習 費 (年額)		27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,232,500円			
入学年度納入金総額		1,615,000円			
入学翌年度以降納入金総額		1,117,000円 (基本額) + 授業料B			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料Bを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		380,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
		C：第2専攻 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 150,000円	1 楽器等 につき 150,000円	「第2専攻実技V～Ⅷ」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	470,000円	—	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
入学翌年度以降		352,000円	—		
実 習 費 (年額)		55,000円	55,000円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,495,000円			
入学年度納入金総額		2,140,000円			
入学翌年度以降納入金総額		1,642,000円 (基本額) + 授業料B + 授業料C			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技Ⅰ～Ⅷ」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

## G 音楽学部 2007年度入学者

## 1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	200,800円	200,700円	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
		入学翌年度以降	200,800円	200,700円	
実 習 費 (年額)		27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		883,300円			
入学年度納入金総額		1,466,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,166,500円 (基本額) + 授業料B			

## 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料Bを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

## 2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
		C：第2専攻 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 150,000円	1 楽器等 につき 150,000円	「第2専攻実技Ⅴ～Ⅷ」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	200,800円	200,700円	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
入学翌年度以降		200,800円	200,700円		
実 習 費 (年額)		55,000円	55,000円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,145,800円			
入学年度納入金総額		1,991,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,691,500円 (基本額) + 授業料B + 授業料C			

## 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技Ⅰ～Ⅷ」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

H 音楽学部 2008年度以降入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
		入学翌年度以降	220,800円	220,700円	
実 習 費 (年額)		27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		903,300円			
入学年度納入金総額		1,506,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円 (基本額) + 授業料B			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料Bを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技A・B」 を履修する当該学期のみ 納入
		C：第2専攻 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 150,000円	1 楽器等 につき 150,000円	「第2専攻実技V～Ⅷ」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	入学年度	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3 年次編入学者は2年間納 入。
		入学翌年度以降	220,800円	220,700円	
実 習 費 (年額)		55,000円	55,000円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,165,800円			
入学年度納入金総額		2,031,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500円 (基本額) + 授業料B + 授業料C			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技Ⅰ～Ⅷ」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

I 音楽学部 2011年度以降入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学手続き時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：PA副科個人 実技A・B実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「PA副科個人実技A・B」を履 修する当該学期のみ納入
		C：PA副科グル ープ実技A・B実 技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 30,000円	1 楽器等 につき 30,000円	「PA副科グループ実技A・B」 を履修する当該学期のみ納入
	施設設備費 (年額)	入学年度	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次 編入学者は2年間納入。
		入学翌年度以降	220,800円	220,700円	
実 習 費 (年額)		27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		903,300円			
入学年度納入金総額		1,506,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円 (基本額) + 授業料B + 授業料C			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A(基本)に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

## 2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学手続き時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A : 基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B : PA初習副科 個人実技A・B実技 料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 50,000円	1 楽器等 につき 50,000円	「PA初習副科個人実技A・B」を 履修する当該学期のみ納入
		C : PA副科個人実 技A・B実技料 (履 修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「PA副科個人実技A・B」を履修 する当該学期のみ納入
		D : PA第2専攻個 人実技A・B実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 150,000円	1 楽器等 につき 150,000円	「PA第2専攻個人実技A・B」を履 修する当該学期のみ納入
		E : PA副科グルー プ実技A・B実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 30,000円	1 楽器等 につき 30,000円	「PA副科グループ実技A・B」を 履修する当該学期のみ納入
	施設設備費 (年額)	入学年度	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次編 入学者は2年間納入。
		入学翌年度以降	220,800円	220,700円	
実 習 費 (年額)		55,000円	55,000円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,165,800円+授業料B			
入学年度納入金総額		2,031,500円+授業料B			
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500+授業料C+授業料D+授業料E			

### 備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A（基本）に授業料B、C、D及びEを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技Ⅰ～Ⅷ」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

**別表第8**（第43条関係）

科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業者は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき）	
講義科目	5,000円
実習又は演習科目	10,000円
音楽学部実技科目	30,000円
単位認定料（1単位につき）	
講義科目	7,500円
実習又は演習科目	15,000円
音楽学部実技科目	20,000円